

<b>授業科目名</b>	ことばとコミュニケーション(2100143)		
<b>時間割名</b>	ことばとコミュニケーション(21107)		
<b>時間割担当</b>	伊崎一夫		
<b>実施期</b>	後期	<b>単位数</b>	2 選択
<b>曜日・時限</b>	火・1		

### 授業の目標・概要

長く話したにもかかわらず「話が通じなかった」ということがある。また、ほとんど話していないのに、「すぐに分かり合えた」ということもある。「分かる」「通じる」「共感する」というのが、決して言葉だけを通じて行われるわけではないことの面白さに実感するために、言語学・社会学・記号論・意味論・言語哲学等々の知識と理解を踏まえて考察していく。確かな人間関係を築き、育てるためのコミュニケーションのあり方を考え、他者とコミュニケーションすることで、私たち自身に起こる様々な変化についても考える。日常的コミュニケーションに加えて、学校教育に役立つコミュニケーション能力の向上をめざし、コミュニケーションのあり方について見つめ直し、考え直すきっかけにしてもらいたい。

### 学習の到達目標

日常的コミュニケーションに加えて、国語教育に役立つコミュニケーションの質を高めるために、音声言語における表現力の向上を目指す。音読・群読の技能や日本語の音声言語の基本について、話すこと・読むことに焦点を当て、声を出して自分を表現していく上で注意しなければならないことを、国語教育について、音声面と内容面の双方から理解できる。

### 授業方法・形式

毎回提示する資料や文献をもとに、受講生の積極的な発言を促す。毎時間、振り返りカードの記述を求める。

### 授業計画

- 第1回 話しことばの特徴
- 第2回 言語生活の中の話しことば
- 第3回 話しことばと書きことば
- 第4回 声を出すしくみと呼吸、姿勢、声
- 第5回 話す力...何をどう伝えるか
- 第6回 話の組み立ての基本形...簡潔に、論理的に、分かりやすく話す
- 第7回 口頭発表会...自己紹介、指示、説明等の実技演習と相互評価
- 第8回 読む力 ...イントネーション、ポーズ
- 第9回 読む力 ...音読・群読と国語教育
- 第10回 群読発表制作
- 第11回 群読発表会
- 第12回 伝える力...スピーチ・プレゼンテーションと国語教育
- 第13回 スピーチ・プレゼンテーション作成
- 第14回 スピーチ・プレゼンテーション発表会
- 第15回 まとめ

### 成績評価の基準

定期試験60%、振り返りカード20%、授業への参加度20%の割合で、総合的に評価を行う。

### 授業時間外の課題

- 1 テキストを読み、関連する文献や資料を調べておくこと。
- 2 自らの日常的なコミュニケーションの様式を再度見直す。
- 3 不思議に思うこと、疑問に思うことは、積極的に質問し、問題提起すること。

### メッセージ

講義時間内にお伝えします。

### 教材・教科書

授業中に指示する。

### 参考書

授業中に指示する。